

リハビリテーション部 キャリアラダー

I	II	III	IV	部署管理者
基礎的リハビリテーション知識・技術を身につけ、提供できるレベル	自主的に業務を遂行し、必要なリハビリテーションが行えるレベル	リハビリテーション実践においてロールモデルとなり、後輩を育成するレベル	チームメンバーの方向づけや育成を行い、部門の目標達成に貢献するレベル	
リハビリテーション実践能力	●マニュアルをもとに、または指導を受けながら実践できる	●自主的にリハビリテーションを実践する	●リハビリテーション実践において、ロールモデルとなり、後輩を指導する	●質の高いリハビリテーションを継続的に提供する
<p>○PT：基本的な運動療法及び物理療法</p> <p>○OT：基本的な作業活動支援及びADL訓練</p> <p>○ST：基本的な言語訓練及び嚥下訓練</p>				
○利用者と家族様への説明・指導 1指導を受けながら、マニュアルに沿って説明ができる ○記録・計画書 1正確に記録ができる 2マニュアルに沿ってまたは指導を受けながら計画書が作成できる	○利用者と家族様への説明・指導 1計画に沿って自立して指導及び説明ができる ○記録・計画書 1正確に記録ができる 2計画書を立案・実践・修正できる	○利用者と家族様への説明・指導 1ニーズに沿って具体的な指導ができる 2精神的な配慮ができる ○記録・計画書 1問題点に対し、解決をもらたす実際の計画書の作成・記録ができる 2部門内で計画書の評価・指導ができる 3記録の監査ができる	○利用者と家族様への説明・指導 1相手の反応を確認しながら個別的な指導ができる 2専門的知識を事前に十分整理し、わかりやすく説明・指導できる 3相手の気持ちを共感し、意見・希望を十分尊重できる ○記録・計画書 1記録の指導ができる 2病状との整合性をもった計画書が作成でき、実践できる 3問題点を明らかにし、サマリーとして、正確に伝達できる	○記録・計画書 1問題点を明らかにし、内容を、内外で正確に伝達できる 2他職種と情報を共有し記録を明確に記載・評価できる 3コスト算定に必要な書類の記載漏れがないか、点検・整備できる

倫理	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者のプライバシー、生命・人権を尊重する 1自己の言動が患者さまのプライバシーの尊重につながっているか、指導を受けて気づく 2守秘義務を守る 3利用者の人権意識を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者のプライバシー、生命・人権を尊重する 1プライバシーの尊重を守る行動がとれているか自らの行動を振り返ることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者のプライバシー、生命・人権を尊重した行動をとる 1どのような場面・事例でもプライバシーを守る行動をとれる 2利用者の権利・自己決定権を支援できる 	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者のプライバシー、生命・人権を尊重する 職員を育成する 1プライバシーの尊重 2利用者の知る権利と自己決定権を支援 3生命・権利の尊重 以上のことが部門全体でできるように支援・推進する 	<ul style="list-style-type: none"> ●倫理実践水準を高め、それを実践する 1人間としての尊厳を守り、生命・身体・人格を尊重する 2利用者のプライバシーを尊重する 3利用者の知る権利と自己決定権を守る 以上のことが部門全体できるように展開する
危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者の安全性を維持するために、マニュアルまたは指導を受けながら行動できる 1災害発生時、マニュアルに沿って行動できる 2医療事故防止のためにマニュアルに沿って行動できる 3院内感染防止マニュアルに沿って行動できる 	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者の安全性を維持するために、マニュアルまたは指導を受けながら行動できる 1災害時対策が説明できる 2医療事故防止のためにマニュアルに沿って行動できる 3院内感染防止マニュアルに沿って行動できる 	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者の安全性を維持するために、後輩を指導する 1災害発生時、適切な対処ができる 2医療事故防止のためにマニュアルを指導できる 3院内感染防止について指導できる 	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者の安全性を維持するためリーダーシップを発揮する 1災害発生時、リーダーシップがとれる 2自部門の事故状況を把握し、原因の追及、発生予防に向けて、対策立案・行動できる 3自部門の院内感染状況を把握し、原因の追及・感染率の低下に努めることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ●委員会で定められた危機管理システムを柔軟に運用する 1医療事故の発生予防と発生時の対策を適切にとり、予防策を継続する 2院内感染防止と発生時の対策を適切にとる 3災害発生の予防と発生時の対策を適切にとる
専門職の育成	/	<ul style="list-style-type: none"> ●プリセプターの役割機能を遂行する 1新入職員に対して、業務の流れをわかりやすく説明できる 	<ul style="list-style-type: none"> ●習熟度の未熟な職員に対して、知識・技術の習得を支援する 1新入職員及び中途入職者の指導者の一員として積極的に参加できる 	<ul style="list-style-type: none"> ●プロフェッショナル職員を育成する 1自部門の教育指導内容を企画・運営・評価ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ●プロフェッショナル職員を育成する 1スタッフ個々に期待されている職務責任と課題が達成できるよう支援する

労働環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ●自己の心身の健康管理を保持する 1自己の健康管理ができる 2院内感染から自己を守ることができる 3就業規則を理解し、行動できる 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己の心身の健康管理を保持する 1自己の健康管理ができる 2院内感染から自己を守ることができる 3就業規則を理解し、行動できる 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の心身のコントロールができ、職場の規律が遵守できる 1自己の心身の健康管理ができる 2自部門の人員状況を把握しながら行動できる 3後輩の心身の様子にも注意ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ●労働環境を把握し、指導・支援する 1スタッフが心身共に健康な状態で仕事ができるように調整することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ●労働環境を整備する 1労働関係法規および就業規則を熟知し、スタッフが職場環境に順応できるように支援する 2事務部門等と綿密に連絡をとりあう
業務の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ●業務を確実に遂行する 1コスト意識を持って業務を行うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ●業務を確実に遂行する 1時間の観念を持ち業務に取り組む事ができる 2コスト意識を持ち、無駄を省く工夫ができる 3自部門の環境を整え、物品等を大切に扱うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ●業務を効率的に遂行する 1時間の観念を持ち業務に取り組む事ができる 2コスト意識を持ち、無駄を省く工夫ができる 3自部門の環境を整え、物品等を大切に扱い、問題があれば提言することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ●業務の改善に向けて問題解決に取り組む 1コスト意識を持ち、経済性の視点で評価でき、改善に向けて取り組む事ができる 2スタッフに時間の概念とコストの意識づけができる 	<ul style="list-style-type: none"> ●サービスを高めるために業務を効果的に行う 1業務量・内容を把握・分析し、その改善に向けて計画立案・実施・評価する 2業務が円滑にできるよう、他部門と連携する 3マニュアルの改善・事務的業務の簡素化をする
目標管理	<ul style="list-style-type: none"> ●自己の位置づけを知り、役割を果たす 1法人の理念、部門の方針・目標を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己の位置づけを知り、役割を果たす 1法人の理念、部門の方針・目標を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ●自己の位置づけを知り、役割を果たす 1法人の理念、部門の方針・目標を理解する 2部門の目標に連動した自己の目標を立案する 	<ul style="list-style-type: none"> ●目標管理において率先して行動する 1自部門の目標達成に連動した自己の目標を立案・実践・評価できる 2自部門の目標設定や評価に参画し、率先して意見を述べる 3自己の将来像に向かって、具体的な行動をとる 	<ul style="list-style-type: none"> ●部門目標を達成するための活動を推進する 1法人の理念、方針、目標の浸透に向けて、リーダーシップをとる 2職員が部門目標達成に向けて、取り組めるよう支援する
病院・リハビリテーション運営への参画			<ul style="list-style-type: none"> ●施設の方針に基づいた企画に自己の役割を踏まえて主体的に参加する 	<ul style="list-style-type: none"> ●施設の方針に基づいた企画に自己の役割を踏まえて主体的に参加する 	<ul style="list-style-type: none"> ●施設の方針に基づいた企画に自己の役割を踏まえて主体的に参加する

地域の保健・医療・福祉活動			●地域の医療・福祉・リハビリテーション関連活動を知り、地域への連絡・連携	●地域の医療・福祉・リハビリテーション関連活動を知り、参加する	●地域の医療・福祉・リハビリテーション関連活動に積極的に参加する
---------------	--	--	--------------------------------------	---------------------------------	----------------------------------

チームワーク	自分にまかせられた役割は認識し、それを真面目に果たそうとしている	自分から進んでメンバーに協力し、援助を行っている	メンバーのやる気を引き出したリ、部門全体の前向きな雰囲気を作り上げている	部門内に問題が起こった時、自分が中心となって前向きに解決し、部門内の総合力を高めている	部門内に問題が起こった時、自分が中心となって、前向きに解決し、部門内の総合力を高める責任を持つ
育成力		後輩にわからないことがあった場合に、実際にどうすれば良いのかやってみせている	ただみせるだけでなく、理由や考え方を丁寧に説明している	本人が能力を伸ばすために経験しなければならないような場面で実際に経験させ、その結果をフィードバックしながら育成している	長期的に職員がどのような能力をつければ良いのか、到達イメージを持ち、計画的な育成を行っている
指導・強制力		後輩に問題が起きたり、基準からはずれてきたような場合、それを注意している	後輩に問題が起きたり、基準からはずれてきたような場合、それを注意し、改善できるように指導している	後輩に対して成果の基準を明確に伝え、指導・監督を続けている	後輩に対して成果の基準を明確に伝え、指導・監督を続け、様々な手段で冷静・効果的に対応できる
柔軟性	業務及び問題解決に当たって1種類のやり方を行っているのだが、自分なりの簡単な工夫をしている	業務及び問題解決に当たって、複数のやり方を持っており、それを状況に応じて使い分けている	業務及び問題解決に当たって、今まで行われてきた既存の方法に、自分なりの修正・改善策を提案し、合意を得ながら、効果的にしている	既存の方法に加え、独自の問題解決方法を持ち、部門内または委員会レベルで、それを実行できる	状況に応じて、従来行われていた部門全体の方針でも、根本から考え直し、修正できるくらいの柔軟な発想・行動を行っている

達成・志向性	上司から与えられた目標は、その通りに達成しようとして努力している	上司の指示がなくても、自分自身が達成しなければならない目標を自分で理解し、その達成に向けて努力している	自分自身の目標はあらかじめ、達成のためにはあらゆる方法を考え、実行している	部門全体の目標を常に意識し、それが達成されるまで、あきらめず、あらゆる手段を駆使しながら、取り組んでいる	部門全体において、成果を向上させるための現実的な目標を設定し、その達成のために、あらゆる手段を駆使しながら、取り組んでいる
専門性	職務に必要な最低限の知識や技術を身につける努力をしている	職務に必要な最低限の知識や技術は持っており、それを活用することができる	自分から今必要なレベル以上の専門的知識を拡大する努力をしている	ある領域に関して専門的な知識を持っており、後輩の指導を行うことができる	組織管理的な知識を身につけ、高め、それを遂行している
情報志向性	上司や先輩から与えられた情報を読んでいる	上司や先輩から与えられた情報を読んだり、自分から情報収集しようとして努力している	必要となる情報を他の関係部門から広く情報収集しようとしている	必要となる情報を他の関係部門から広く、正しく情報収集しようとしている	独自の情報網を持ち迅速かつ正確に情報を入手している
セルフコントロール	怒りや不満を感じても、その場で感情的な行動をすることはしない	怒りや不満を感じても、冷静に議論を行ったり、対応することができる	誰もがストレスとを感じる場面でも、感情をコントロールし対応することができる	誰もがストレスとを感じる場面でも、前向きにとらえ、感情をコントロールし対応することができる	誰もがストレスとを感じる場面でも、前向きにとらえ、感情をコントロールし、冷静に議論・対応ができる
対人感受性	相手が表現しようとしていることに関してきちんとして聞いて正確に伝えることができる	相手の言動を通して、言葉の内容・思い・感情を理解できる	言葉では明確に表現されていないことでも、相手の雰囲気からその時の思いや感情を察することができる	相手が伝えようとしている内容から、その人の思い・感情、生活史を含めて全体的に共感・理解することができる	相手の性格や行動の特徴などから相手が伝えようとしている気持ちの背景まで含めて、共感的に理解し実際にその悩みや相談を解決できるくらいの傾聴力をもっている
対人影響力		相手に説明するとき、なぜそうした方がよいのかなどの理由を伝えている	事前にどのような説明すれば、最も効果的かを考え理由も伝えて対応できる	相手の特性を見抜き、その特性に合わせた説明方法を準備し、あきらめずに対応できる	相手の疑問や不安に思うことを敏感に察知し、その解決策を事前に考え、それを伝えながら説明承を得ることができる